

## 安全データシート

改訂日:2025年9月21日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称(製品名)  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

ホスフィン酸溶液(50%)  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
CB0135

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分1  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

慣用名又は別名

化学式又は構造式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び濃度又は濃度範囲

官報公示整理番号(化審法・安衛法)

その他

混合物

ホスフィン酸溶液

次亜りん酸溶液

 $\text{H}_3\text{PO}_2$  $\text{H}_2\text{O}$ 

CAS RN: 6303-21-5

7732-18-5

ホスフィン酸 49~52%、水 残り

(1)-420/公表

—

HSコード:2811.19

## 4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

症状が続く場合は医師の診察/手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診察/手当てを受けること。

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

刺激や違和感が残る場合は、医師の診察/手当てを受けること。

該当情報なし。

救助者は状況に応じて適切な保護具を着用すること。

該当情報なし。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

水噴霧、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂剤

該当情報なし。

加熱されると分解して腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるなら着火源を除去する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 すべての着火源を取り除く。 周辺環境に影響を及ぼす可能性があるため、環境への放出を避ける。 危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を容器に回収し、後で廃棄処理する。 排水溝や下水溝、地下室等の閉鎖場所への流入を防ぐ。
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化方法・機材	
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気・全体換気)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 ヒューム、ミストを吸入しないこと。 皮膚との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	密閉して屋内で保管すること。高温多湿を避ける。
安全な容器包装材料	密閉して保管すること。 ポリエチレン等
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	この設備を貯蔵ないし取り扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色又は微黄色
臭い	無臭
融点/凝固点	-25℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	108℃
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	100℃以上
pH	pH1(20℃)
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	水、エチルアルコールに可溶。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.22(20℃)
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	還元性が強いので酸化剤として激しく反応する。 強酸であり、塩基と激しく反応する。
危険有害反応可能性	高温に加熱すると分解して有毒で可燃性のホスフィンガスを発生する。
避けるべき条件	高温多湿、直射日光
混触危険物質	酸化剤、塩基性物質
危険有害な分解生成物	ホスフィン、リン酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: 該当情報なし。 経皮: 該当情報なし。 吸収: 該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚を刺激する。強酸性(pH2以下)のため、区分1とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼を刺激する。強酸性 (pH2以下) のため、区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし。 皮膚: 該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性): 該当情報なし。 長期(慢性): 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの)
国連分類	クラス8
容器等級	II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHIRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品
その他	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。